

エシカル消費  
(倫理的消費)とは

私たち消費者が、毎日の消費活動の中で「自分のことだけでなく、環境・人や社会・地域に配慮」しながら、お金やモノの使い方を考えること



## 徳島県消費者市民社会の構築に関する条例 (通称：エシカル条例)が制定されました

徳島県では、消費者自らが、現在および将来の世代にわたって、社会経済情勢や地球環境に影響を及ぼし得ることを自覚して消費行動をすることにより、公正かつ持続可能な社会の構築に参画していく「消費者市民社会」の実現を目指し、平成27年度から人権や社会、環境に配慮した思いやりのある消費行動「エシカル消費」を推進しています。

また、平成29年7月、県庁に設置された、消費者庁の新たな未来に向けた消費者行政の発展・創造の拠点「消費者行政新未来創造オフィス」と連携した、全国展開を見据えたモデルプロジェクトの1つとして、「エシカル消費の普及」にも取り組んでいます。

こうした背景を踏まえ、県議会平成30年9月定例会において、徳島県議会自由民主党から本条例案が提案され、同年10月10日に全会一致で可決、同月24日より施行されました。



11月12日に徳島市内で開催された「条例制定記念講演会」の様子

## 条例の特徴

条例は、人権尊重や地球環境保全等の社会的課題の解決に配慮した消費行動や事業活動を基本理念とし、「県の責務」「消費者・事業者等の役割」や条例の取組を進める「消費者市民社会推進期間」を定め、普及・定着を図る行事を実施します。

### 基本理念



- 1 消費者一人ひとりの消費行動及び事業活動が将来にわたり県内外の社会、経済及び環境に影響を及ぼしうることを自覚すること
- 2 人権の尊重や地球環境の保全、その他社会問題の解決に配慮した消費活動や事業活動により消費者市民社会を実現すること
- 3 県、消費者及び事業者がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協力して推進すること

### 消費者

消費行動が社会に与える影響を理解し、自主的・合理的に行動できるよう、エシカル消費に関する知識を修得

### 事業者

自らの事業活動が社会や環境等に与える影響について十分配慮するために、消費者志向経営に関する知識の修得や、事業活動への反映

### 関係団体

エシカル消費の普及推進にかかる消費生活に関する取組の積極的な推進

### 県の責務

消費者市民社会の構築に関する施策の実施や、市町村、消費者、事業者及び関係団体の取組支援のほか、人権や社会、環境に配慮した調達の推進に努める

### 役割



### 消費者市民社会 推進期間

5月の第2土曜日から15日間は消費者市民社会推進期間です。  
条例制定後の初めてとなる推進期間は平成31年 **5月11日から25日** です  
皆さんも、推進期間にはエシカル消費にチャレンジしてみませんか？！



# 「次世代エシカルフェス」 「エシカル消費自治体サミット」

## を開催しました

7/21

教育委員会と共催し、徳島県を含む、エシカル消費に取り組む全国8校の高校生が徳島市に集い、**「次世代エシカルフェス」**を開催。「フェアトレード」や「カーボンオフセット」、「地産地消」や「ジビエ」など、エシカル消費に関する、各校独自の取組紹介や、グループワークを通じて交流を深めました。



駿河総合高校（静岡県），愛知商業高校，南陽高校（愛知県）  
今治西高校（愛媛県），倉吉農業高校（鳥取県）  
城西高校，吉野川高校，城ノ内高校（徳島県）

参加校



三好市内の廃校をリユースした施設に、本県を含む、エシカル消費に取り組む6つの自治体や団体が一堂に会し**「エシカル消費自治体サミット」**を開催。「エシカルな社会の実現に向けて地方ができること」をテーマにトークセッションを行い、「取組報告」や「意見交換」を通じた連携強化を行いました。

7/22



参加自治体・団体

神奈川県 NPO法人フェア・プラス（京都府推薦）  
鳥取県 徳島県 名古屋市 浜松市

イベントの最後では、より一層のエシカル消費の普及に向け、関係者やエシカルフェスに参加した高校生が一丸となり**「共同宣言（シモノロ宣言）」**を行いました！



# 「みんなで学ぼう！エシカル教室」を開催しました

実店舗で商品を手に取りながらエシカル消費につながる認証マークを学び、それらの食材を利用した料理を実際に食すことを通して、生産から食卓までのフードチェーンを体感できる普及啓発イベント「みんなで学ぼう！エシカル教室」を開催しました。

H30.8.26 徳島県徳島市で開催



H30.11.3 広島県と共催で広島市内で開催



学習した認証マークの一例

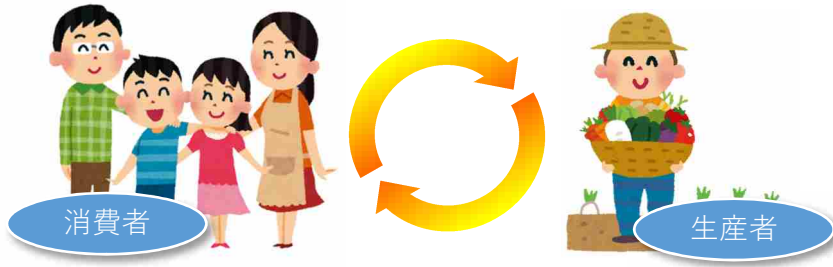


## 「地産地消」ってなに？

「地産地消」とは「地域生産・地域消費」の略語で、「**地域で生産されたものを、その地域で消費する**」という意味で使われています。

地域で生産されたものは新鮮で、生産者の顔が見える安心感から消費者の心理的な距離も縮まり、消費者の「地場産品」への愛着心も深まります。ひいては、地元の産業を応援することになり、生産者の生産意欲の向上につながり、地域産業の衰退を防ぎます。

さらに、生産者は消費者のニーズを的確に把握し、それに沿った生産を行うようになるとともに、消費者が地域の産業や産品への理解と関心を深め、地場産品をはじめとする国産の商品を選択する機会が増えることにより、日本の食生活や食文化が守られ、食糧自給率を高めることとなります。



地産地消の活動としては、直売所や量販店での販売、学校給食、福祉施設、観光施設、外食・中食、加工関係での地場産品の利用などが挙げられます。

## 「フード・マイレージ」ってなに？

「フード・マイレージ」とは、**食材が、産地から食卓まで運ばれる間の「距離」と「重量」をかけあわせて、輸送に要する燃料・二酸化炭素の排出量を数値化したもの**で、食材の産地と食卓が近ければフード・マイレージは小さくなり、遠くなるとフード・マイレージは大きくなります。

豊かな食生活を送っている日本ですが、食べ物の約6割を輸入に頼っています。海外からの食材は、田畑や牧場から船や飛行機で運びます。その距離が長くなるほど、燃料費や二酸化炭素の排出量が高くなり、環境への負荷は大きくなります。

フードマイレージを意識し「地産地消」など、最寄りの地域で生産された食料を消費することは、輸送エネルギーや二酸化炭素の排出量の削減など、地球環境の保護に繋がります。



## エシカル消費自主宣言 【(株)キョーエイ】

### 【(株)キョーエイ エシカル活動自主宣言】

株式会社キョーエイは、徳島生まれの徳島育ち、地元のご愛顧を受けて、お商売をさせていただいております。

これからも、徳島が自然豊かで、お客様の誰もが、安全・安心かつ潤いのある生活を実感できるよう、地域社会の衣・食・住を守り、より文化的でより豊かな生活を提供して参ります。

なかでも、「すきとく市」においては、お客様に安全・安心な農産物を提供するとともに、高齢の農家さんをはじめとした地域農業の持続発展、パッキングセンターを通じた、障がいを持つ方々の雇用をはじめとした活躍を応援して参ります。

また、品質に問題が無く、包装が破損しただけの食料品や賞味(消費)期限が近づき販売できない食品・食材を福祉施設などへ無償でお届けする「フードバンク活動」や地球環境の保全を推進する資源ゴミの回収と売却益を全額、運営をしている障がい者支援のNPO団体の収益金とするほか、使える衣類品の一部を東南アジアなど海外に送り、再利用する「はっぴいエコプラザ活動」なども展開し、お客様、生産者様、お取引先様、みんなが笑顔になる「三方よし」の社会、さらには、徳島はもとより、世界の人々が幸福を実感できる「未来よし」の社会を実現するため、積極的な活動を行って参ります。



【(上) 地元農家と協力して地産地消を推進する「すきとく市」】



【(下) 障がいを持つ方々による商品のパッキング】



徳島県では、県内でエシカル消費に取り組む事業者等からエシカル消費自主宣言を募集しています。H30.12月末現在で、30者の事業者等から自主宣言が行われています。

